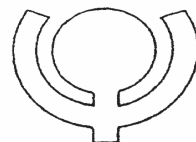


一般社団法人 高知県子ども会連合会



高子連だより

No. 68

令和2年4月10日発行

第53回 全国子ども会育成中央会議・研究大会

テーマ『未来の子どもたちのための子ども会活動』

～あなたは子ども会の意義を語れますか?! 語っていますか?!～

第53回全国子ども会育成中央会議・研究大会が、岡山県倉敷市で2019年10月4日(金)から6日(日)の日程で開催されました。今年度は、第50回中国・四国地区子ども会育成研究協議会も同時開催されることとなり、美観地区のロケーションのなか、中四国をはじめ全国各地から子ども会関係者らが集いました。高知県からは、高子連6名、安芸市4名が参加しました。

1日目は、開会式・表彰式が行われたあと「今、家庭・家族に必要なもの」～家庭に笑顔がありますか～という演題で、教育や青少年の健全育成に尽力されている森 美智子先生から基調提言をいただきました。夜は、受賞者を囲む会・情報交換会が催され和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。その中で、杉村会長をはじめとする高知県からの参加メンバー全員で、次年度中四国育成研開催地「高知県」をPRしてきました。

2日目は、10の分科会に分かれてそれぞれのテーマに沿った意見交換が行われました。午後からは、「キセキの葉書」という映画が上映されました。阪神淡路大震災後の兵庫県西宮市を舞台に、難病の娘と、認知症とうつ病を併発する母に挟まれながら、逆境の中を勇敢に勝ち抜く女性の姿に感動しました。上映後「可能性の扉を開けて」という演題で、原作者の脇谷 みどりさんの記念講演がありました。話しの節々で映画の情景が思い浮かび、可能性を信じること、そして強く生きることの大切さを学びました。

3日目は、開催地岡山の伝統・文化・歴史を感じられる5つのコースに分かれた希望者のみの視察研修が行われました。岡山大会は盛会のうちに幕を閉じました。

緑の募金【秋の募金活動】の参加

毎年、春と秋に行われている(公社)高知県森と緑の会主催の街頭募金活動が、10月14日(月・祝)に行われました。高知市子連から14名、いの町子連から10名の参加があり、13:30から15:00までの間、他の参加者とともに中央公園北口とひろめ市場南口に分かれて募金の協力を呼びかけました。行き交う人に声をかけるのは躊躇しますが、快く呼びかけに応じてくれる方々の温かい思いやりに触れ、笑顔を見せる子どもたちには安堵と達成感が感じられました。





第20回 緑の少年団大会



11月10日（日）香美市の森林センターで、第20回緑の少年団大会を開催しました。はじめに森林の役割など山についての学習を行い、その後ピザ作りにチャレンジしました。生地を練り具材を切り思い思いにトッピング。美味しそうに焼き上がったピザに大興奮、格別の美味しさに大満足でした。午後からは野外に出て万華鏡作りを行いました。山で採取した草花を使うのですが、種類や入れる量、大きさなど様々なのでふたつとして同じものはできません。イメージした模様にならないことも面白いところのひとつです。作品をみんなで見せ合って楽しみました。

今回は南国市子連からジュニアリーダー5名の参加があり、各班のリーダーとして活躍してくれました。ご苦労様でした。



山の学習



万華鏡作り



ピザ作り



閉会式



高知県子ども会連合会 ジュニアリーダー講習会

毎年春と秋に行っているジュニアリーダー講習会の後期日程を、11月23日（土・祝）県立青少年センターで開催し、南国市子連から6名、いの町子連から1名が集まりました。

高子連では、「命を守る」ということを念頭に安全教育（安全啓発活動）への取り組みを強化するとともに、災害時にも対応できるよう深化させています。今回の講習会では、「危険予知トレーニング」と「災害時に備える心構え」の2部構成で日程を組みました。講義を聴くだけでなく、危険の予知・対策など自分たちで考えどう行動するかを発表するグループワークも行いました。また、伝統文化を学び継承する学習として、しばてん音頭と正調よさこい節を西谷 進先生に実技を交えて教えていただきました。この講習会は、異なる地域の仲間との交流の場でもあり、楽しく学び合い絆を深め合うことができる良い機会となっています。



安全啓発



しばてんおんど



発表



正調よさこい節



グループワーク

第44回 高知県子ども会連合会育成大会（高知大会）

令和2年1月26日（日）高知会館において、第44回高知県子ども会連合会育成大会（高知大会）が、高知市子連が主管となり各市町村子連より53名、役員・来賓18名、総勢71名の参加のもと開催されました。

子どもを取り巻く環境が変化し心が痛む深刻な問題や事件が日々報道される中、「地域の子どもは地域で育む」をスローガンとして活動する私たち子ども会の重要性はますます高まっています。育成者や指導者が減少傾向にある中で、「地域の子どもを育む子ども会の使命」「指導者や育成者の資質の向上」という視点のもと、子ども会活動の素晴らしさや課題を共有し取り組みに繋げるということを今回の育成大会の目的としました。

開会式では、表彰選考委員長の選考報告に続き、香美市の岡林哲子さんに高子連表彰の授与が行われました。

開会式終了後、学校法人高知学園高知小学校長の友村憲朗先生をお迎えし「子ども達を健やかに育てるために」という演題で講演をしていただきました。褒められたり認められることで自尊心や自己肯定感が育つこと、友村先生は会話の中で「君のことをいつも気にかけているよ」という発信をしていること、今日も良い一日だったと思う「ポジティブシンキング」という考え方など、体験談や日頃の教育活動を基にした貴重なお話をお聞きすることができました。愛情をもって理解しようとするのが、子ども達を健やかに育てることにつながる。原点に戻って子ども達との接し方を見直そうという思いになりました。



（一社）高知県子ども会連合会 創立50周年記念式典

令和2年1月26日（日）高知会館において、第44回高知県子ども会連合会育成大会（高知大会）に引き続き、高知県子ども会連合会 創立50周年記念式典が開催されました。91名の参加のもと、式典、記念講演、祝賀会の3部構成で行いました。

式典では、長年にわたり多大なご貢献でご支援をいただいた個人・団体に対し、50周年特別表彰として3名の方に顕彰が、7団体と3名の方に感謝状が、5団体と4名の方に表彰状がそれぞれ贈られました。

記念講演は、高知を拠点にコンサート活動やテレビやラジオで活躍されているシンガーソングライターの堀内 佳さん（四万十市生まれ）をお招きし「いま・しあわせに生きるために」という演題で講演いただきました。全盲で生まれてから現在までの生い立ちを歌を交えながら話してくださいました。葛藤に苦しみながらも愛情をもって佳さんを守り育てたご両親のお話や、常に前向きに生きてきた佳さんのお話しに聴き入り、佳さんの心に響く歌声に会場全体が包まれ、時間があっという間に過ぎてしまいました。佳さん、素晴らしいご講演をありがとうございました。

祝賀会も、ご来賓をはじめ55名の参加をいただき盛大に催すことができました。古くから活動されていた大先輩から当時のお話を伺うことができたり、仲間や関係者の方々と親睦を深めることができ50周年に相応しい祝賀会となりました。

高知県子ども会連合会は、この度の創立50周年を契機に新たな時代に向けての一步を踏み出します。魅力ある子ども会づくりに邁進してまいりますので、これからも力を合わせて頑張りましょう！

創立50周年記念式典の様子

式典



お花を頂きました



特別表彰



特別表彰



記念講演



記念講演



祝賀会



祝賀会



安全啓発初級指導者認定審査会

2月3日（日）安芸市防災センターにおいて、2019年度の安全啓発初級指導者認定審査会を開催しました。高子連は、初級指導者養成を推進するにあたって、各市町村で指導者の養成講習会及び認定審査会を実施するようになりました。先だって、6月19日（日）に安芸市で行われた安全啓発初級指導者養成講習会に参加した10名のうち9名が認定審査会に参加されました。

審査は、各々が講習会で学んだことや活動内容をふまえながら指導者としての展望を発表したり、審査員の質問に答える形式で行われました。結果、無事に9名全員が認定を受けることができました。今後は、単位子ども会等で安全啓発活動を積極的に行い「安全の輪」を拡げていってください。

高子連は運営方針の中で、安全啓発初級認定者の育成を取り組むべき重点項目の一つに挙げています。大人も子どもも安心して参加でき、安全で楽しく活動できる子ども会にしていくために、次年度も沢山の受講をお待ちしています。



第3回 親子ボウリング大会

親子ボウリング大会を2月9日（日）ボウルかつらしまで開催しました。親子でペアとなり、合計得点で順位を競います。今回は南国市、いの町、安芸市から21組の参加がありました。和気あいあいとした雰囲気の中、家族でゲームを楽しむ微笑ましい光景が見られました。入賞されました方、おめでとうございます。



安全教育部便り

令和2年、今年はどんな年になるのでしょうか。近年、地震やゲリラ豪雨など予知できないような災害が各地で発生しています。今までは安全と考えられていた場所がいつどうなるかわからなくなっています。高知県内をみても過去にあらゆる地域で被災を受けています。

国土強靱化の流れの中、防災整備も進みつつありますが、内閣府からは「自らの命は自らで守る意識を持ち自らの判断で避難行動をとる」との方針が示され、それに伴い、5段階の警戒レベルを明記して防災情報が提供されることとなりました。

これまでに南海トラフ地震は12回発生したと言われ、その都度甚大な被害が発生しています。調査や研究が進んだ現在でも、正確に予知することは困難です。先にも述べたように、公助を期待するのではなく自助共助で自らを守るという日頃からの備えや心構えが重要になってきています。これからは、家族や地域で協力し合って防災意識を高め災害に備えなければなりません。

全国子ども会連合会では、災害を想定した取り組みをスタートさせています。安全教育部としても、防災の要素を取り入れた安全啓発活動を積極的に行っていきます。尊い命を守るために一緒に学んでいきましょう。

安全啓発部長 前田 良二（安全啓発上級認定指導者）

2019年度 表彰

- ☆ **(一社) 高知県子ども会連合会表彰 被表彰者**
 - 育成者 岡 林 哲 子 (香美市)
- ☆ **中国四国地区子ども会連絡協議会表彰 被表彰者**
 - 育成者 長 野 尚 美 (安芸市)
- ☆ **(公社) 全国子ども会連合会表彰 被表彰者**
 - 指導者 陰 山 加 代 (安芸市)
- ☆ **知事表彰 被表彰者**
 - 青少年育成民間奉仕者 横 山 公 人 (安芸市)

(一社) 高知県子ども会連合会

事務局所在地

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

丸ノ内ビル3F

高知県社会福祉協議会分室内

☎ 088-855-5481 FAX 088-855-5481

編集 広報部 横山・宗圓・加藤

発行責任者 会長 杉村高晴

編集後記

2019年、創立50周年という大きな節目の年を迎えました。少子高齢化が急速に進む中、これまで以上に子ども会を取り巻く環境の変化は加速するでしょう。これから10年、20年、30年、子ども会はどうあるべきか何ができるのかを考え、新たな子ども会の在り方を模索していかなければなりません。今後ともご協力をお願いいたします。